

氏名	青山英康
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲 第 1 1 7号
学位授与の日付	昭和39年 3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系衛生学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	集団検診の活動評価
論文審査委員	教授 大平昌彦 教授 緒方正名 教授 平木 潔

### 学位論文内容要旨

公衆衛生活動における今日焦眉の問題は、公衆衛生学的方法論の解明にあると云えよう。著者は、公衆衛生活動における最も基本的な活動である集団検診について、その活動評価の方策を確定し、公衆衛生学的方法論の発展を試みるべく検討を行なった。

第一編において集団検診の活動評価と云う概念を確定すべく既存の研究成果を広く検討し、新しい概念規定を行なうとともに、これより生じる二、三の問題点を明確にした。第二編においては結核集団検診（胸部間接撮影）に例をとって、先に第一編において指摘した指数化の試みを行ない、評価の方策を実証的に検討した。第三編においては Multiphasic Mass Screening Examination（以下 M. M. S. E）と云う概念論を導入しての事後管理体系の確立を試み、学校保健活動について実証的に検討した。

更に第四編では第三編で用いた M. M. S. E としての Cornell Medical Index-Health Questionnaire の有用性より、我国に中広く採用し得る自觉健康調査表（略 Okayama Medical Index-Health Questionnaire O. M. I.）の作成を試み、考案した。

#### 備 考 集団検診の活動評価

第一編 概念規定と問題点（日公衛誌 10巻2号 1963・2）

第二編 指数化とその展開（日公衛誌 10巻8号 1963・7）

第三編 学校保健活動の分析 3冊 (学校保健研究 44~46号 1963.9~11)

第四編 健康調査表の作成 (日公衛誌 10巻12号 1963.11)

### 論文審査の結果の要旨

青山英康提出の「集団検診の活動評価」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。公衆衛生活動における集団検診の正しい位置づけと、評価の方法を検討し、結核を例に検診の体系化を試み、集検速度、集検能率、重点指数、要求指数、計画指数等の新しい指数を既存のデータを利用して作製し、ニード把握、その他における実用性を実証した。

更に学校保健活動においても検診方式の統一化を計り、その中で C.M.I を利用、多相ふるいわけ検査法としての有効性を証明した。

又 C.M.I. の長所を採り、その短所、就中日本における問題点を考慮の上、大学1年間の外来患者の「訴え」を統計処理して新しい自覚調査票を作製した。

以上の通り本論文は、新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。